

校長室より

令和 2年7月7日
校長 植 野 博 之

学校再開から、一ヶ月が過ぎました。長期の臨時休業から分散登校へ、そして6月1日より一斉登校も始まり、子ども達も生活リズムも変わり、体力的にも大変だったかと思います。

それでも徐々に学校生活に慣れて、新入生も含め、新しい環境の中で学習や運動にそれぞれのペースで頑張っている姿がとても印象的です。

通学生では、新しい友達や先生と関係作りが出来てくる中、昼休みにゲームをしたり、楽しくおしゃべりしたり、学校は人との関係の中で育つことを改めて感じます。

芸術の授業では、美術、音楽、書道とそれぞれ選択しています。生徒達はこの授業が大好きな様子で、真剣に充実感を感じながら取り組んでいる様子が伺えます。



高等部生徒作品

病棟入院の生徒達もみんな元気に過ごせています。

病棟から学校への通学は、病院のコロナ対策もあり、まだ難しい状況です。

しかし、病棟内においては、先生達の授業が可能なこともあり、先生達もフェイスシールドとマスクを併用する等、感染対策にも配慮しながらベットサイドや病棟ディルームで授業を実施しています。音楽や自立活動等を通して、光や音、様々な感触に触れて心地よい表情がたくさん見られています。五感を通して関わりが広まってきています。またはじめてのFLTとの授業した生徒もあり、はじめは少し緊張した様子も伺えましたが、慣れてくる中で、最後はいつもどおり手を握り返すこともできました。



病棟での様子

また7月5日（日）には、通学生対象ではありますが、はじめての授業参観も実施できました。子ども達も保護者に見ていただく中で、いつもより少し緊張した様子が伺えました。

コロナ対策として保護者の皆様にも学校に入る際には検温や消毒の協力をしていただき、ありがとうございました。コロナと共に生活するという意識で、今後とも気をつけて学校生活をおくりたいと思います。

全国的には関東を中心にまだまだ新型コロナの感染は治まりませんが、この間、様々な企業や団体また国外の台湾からも感染症対策物品の寄付もいただき、本当にありがとうございました。必要な時に不足している物品を寄贈していただけることは、本当に感謝に絶えません。学校でも有効に活用させていただきます。

授業参観前の検温と消毒



生徒達のものづくり製品の販売



感染症対策の物品の寄付等ありがとうございました。
 その他、和歌山県や国よりも多くの感染症対策物品をいただいています。

大桑財団からハンドジェル300本	菱岡工業よりフェイスシールド
	
白友会（退職県立校長会）より 滅菌手袋 ハンドソープ	台湾よりマスク300枚
	
島精機株式会社よりマスク	アスクル株式会社より手指消毒剤
	

後日、オムロンヘルスケア株式会社より非接触式体温計も届く予定です。

紫陽花があちこちで満開に咲いています。色とりどりでとてもきれいで
 すね。地域の方からいただいた写真を載せさせていただきました。

